

参加無料
事前申込



20th
ANNIVERSARY
UNIVERSITY

畿央大学開学 20 周年・畿央大学附属広陵こども園開園 記念シンポジウム

子どもの世界から みえてくるもの

2023

6/11 (SUN) 14:00 ~ 16:00

畿央大学冬木記念ホール

※事前申し込みが必要です。

〈登壇者〉プロフィールは裏面参照

- 齋藤 美和 (しぜんの国保育園園長)
- 岡本 麻友子 (森のようちえんウィズ・ナチュラ代表)
- 阪田 隼也 (リーベ式運動遊び)
- 小泉 昭男 (造園家)



◀ 申込みフォーム

【問い合わせ】 畿央大学20周年事業係 TEL : 0745-54-1602 Mail : 20th@kio.ac.jp

20th
ANNIVERSARY
KIO UNIVERSITY

子どもの世界から みえてくるもの



ひとは、動物の仲間であり、自然の一部を構成しています。それを一番実感できるのは、子どもという存在です。

けれども、現在子どもを取り巻く環境は危機にさらされています。子どもという自然どころか、子ども自身が思い切り遊べる自然すら身近に感じるようになってきています。

このままでは、自然同様、子どもの自然は日に日にやせ細っていつてしまいます。子どもの世界を取り戻すためにも、子どもを含めた大人の自然へのかかわり方を今一度見直す必要があると思われます。

本シンポジウムは、自然のなかで触れ合うことの大切さと、子どものなかの自然を発見することの面白さとむつかしさを感じ、子どもと自然に積極的にかかわってきた方々から、あらためて現状の報告と未来の提言を示唆していただくためのシンポジウム(饗宴)です。

子ども園、保育園、幼稚園の関係者はもちろんのこと、保護者や地域の方々すべての人に開かれたシンポジウムです。どうぞたくさんの方々のご参加をお待ちしています。

コーディネーター 前平泰志

畿央大学附属広陵こども園園長
畿央大学教育学部長



しぜんの国保育園園長
齋藤 美和 氏

東京・町田市「しぜんの国保育園」small villageの園長。書籍や雑誌の編集、執筆の仕事を経て、2005年から保育の世界に。保育園の運営のほか、レーベル活動(SAITOCNO)や子育てに関する執筆活動を行っている。絵本の翻訳も手がける。しぜんの国と名付けられているように、保育園は自然を基調に、子どもの主体性を大切にしたいと細やかな芸術・表現活動が展開されている。



森のようちえんウィズ・ナチュラ代表
岡本 麻友子 氏

「森のようちえんウィズ・ナチュラ」代表。年間を通して雨の日も雪の日も野外で保育活動を展開する「森のようちえんウィズ・ナチュラ」を2010年に開園。他にも未就園児の親子クラスや、保護者の就労支援や仲間作りを目的としたコミュニティデリカフェ、持続可能な地域を目指すマルシェなどを運営。大人も子どもも共に育ちあい、地域と繋がり「孤育て」をなくすコミュニティをめざしている。



リーベ式運動遊び
阪田 隼也 氏

「株式会社リーベ」代表取締役。大学卒業後、小中学校にて、保健体育科講師として勤務。その際、運動が嫌い、遊ばない子どもを見て、就学前の「幼児体育」のあり方に疑問を持ち、運動あそびプログラム「リーベ式運動あそび」を開発。「楽しい先に育ちあり」をコンセプトに全国の幼稚園・保育園で指導を行なう。その他、保育者への研修や、大人が子どもに仕掛けることを楽しむ木製遊具の開発も行なう。



造園家
小泉 昭男 氏

「小泉造園」代表。ビオトープ施工管理士の資格をはじめとして環境再生のための各種資格を合わせ持つ。10年以上の保育者の経験を経て、子どもたちが植物や身近な生きものと出会い、自然の不思議さを感じとってもらうために、保育園、幼稚園の園庭を、保育者とともに改造することを手がけている。生きものと子ども、そこから身近な自然を感じるための「命と遊びの園庭づくり」をめざす。